

## はじめてのクラシック

INTRODUCTION TO CLASSICAL MUSIC

イラスト: IKE／文: 松井治伸

このえひでまろ

近衛秀麿は1898年の生まれ。1924年、日本人として初めてベルリン・フィルハーモニー管弦楽団を指揮。1926年には、NHK交響楽団の前身、新交響楽団設立の立役者となりました。「おやかた」の愛称で親しまれ、1973年に亡くなっています。日本のオーケストラの幕開きの時代をリードした存在でした。近衛はベートーヴェンの交響曲の楽譜に手を入れるなど、編曲作品も多く残しています。ムソルグ斯基の『組曲「展覧会の絵」』もそのひとつ。そうした編曲には、オーケストラからより効果的な響きを引き出したいという、近衛らしいこだわりが感じられます。

C  
2026  
FEBRUARY  
[第2058回]

©IKE

日本のオーケストラ時代を切り開いた「おやかた」  
**近衛秀麿**  
Hiidemaro Konoe (1898-1973)

《展覧会の絵》はさまざまな作曲家が編曲を施しているが、ロシアでラヴェル編曲版を指揮した経験が、近衛を編曲へ駆り立てたという